

レファレンス講座 報告

「百人一首入門～季節の歌、恋の歌～」

平成30年11月4日(日)午後2時から、レファレンス講座「百人一首入門～季節の歌、恋の歌～」をルミエール府中1階 第1・2会議室にて開催しました。



< 講師の吉田裕子先生 >

講師は、学習塾やカルチャースクールで国語講師としてご活躍の吉田裕子先生です。数多くの講壇に立たれる先生の話術はとても魅力的で、受講生からは、「面白かった」「とてもわかりやすかった」「声がきれいで、聞き取りやすかった」など、たくさんご好評をいただきました。



< 会場の様子 >

たくさんの方がご来場くださいました。最初は硬い雰囲気を受講生も、先生のご講話が始まるとすぐに緊張が解けていきました。古典の分野というと、日頃接することが少なく、ともすると取りつきにくい印象ですが、先生のユーモアあふれる解説に会場から笑い声があがることもありました。



< 受講生とのやりとり >

本講座は、先生から一方向で和歌の解説をいただくだけでなく、講師と受講生が一体となって講座を作り上げていくものでした。和歌の解釈が分かれるところではアンケートをとったり、和歌の題材でホトトギスや鹿の鳴き声を取り上げられていれば、それらの音声データを実際に聴いて意見を交わしたりしました。

小倉百人一首のうち、50番目～62番目あたりが先生のおすすめとのことでした。およそ時代順にならんでいるので、紫式部や清少納言が活躍していた平安時代の和歌です。

和歌の解説は、現代語訳や和歌の作法についてだけでなく、平安・鎌倉時代の生活の様子や、当時の恋愛事情についても具体的にお話していただき、和歌への理解が深まりました。

本当に楽しい2時間で、あっという間に感じられ、受講生の皆様も和歌の世界を存分に堪能されている様子でした。